

令和4年 小学生たたら体験学習



奥出雲町内の小学6年生を中心とした児童を対象とする「たたら体験学習」が、12月1日と2日の両日、鳥上小学校敷地内の古代たたら体験学習工房で実施されました。

この学習は、奥出雲町に伝わる伝統的製鉄技術「たたら製鉄」を、日刀保たたら皆さんの協力をいただきながら実体験することで、

郷土への理解を深めるとともに、体験を通じた表現活動を行う機会とすることを目的としており、平成13年から毎年、行われています。

1日目は、粘土による炉づくりや、砂鉄を採取する鉄穴流し、木炭を切る体験などを行いました。2日目は、ふいごで炉に風を送りながら、砂鉄と木炭を交互に炉に入れて操業し、夕方には炉を壊して、鉄の塊「鋳(ケラ)」を取り出しました。今回の体験では、砂鉄99kg、木炭157kgを使用し、できた鋳は33kgでした。

参加した児童の1人は「木原村下が言っていた、誠実は美鋼を生む、その言葉をずっと心に秘めて、たたらをしていました。その通り、みんなが誠実にやっていたおかげで、良いケラができました。僕はこれからも誠実にやって結果を残していきたいです。」と述べました。

児童は今後、操業体験や、事前学習で学んだ各校区の鉄づくりに関わる歴史や活動などを表現する事後学習に取り組みます。

仁多地域統合小学校建設地は、三成小学校敷地に決定しました

12月定例議会初日の12月5日、糸原町長が下記の判断を説明をした上で関連補正予算を上程し、議会審議の結果、同日に可決されました。



【町長の判断】(要旨)

- ・仁多地域統合小学校建設地は、三成小敷地とする。
- ・財政上の見通しが立てば、同敷地内に町民体育館兼用体育館を整備する。
- ・三成小学校耐震代替校舎は、三成小敷地内に設置し、その用地はプールを解体することで確保する。
- ・現町民体育館解体後の敷地やその他用地を活用し、三成地区のまちづくりを住民と一緒に進める。
- ・現布勢小学校の取壊し、未耐震の布勢公民館に替わる布勢地区拠点施設整備などが一体的に解決する可能性があることから、布勢小学校の耐震代替校舎(仮設校舎)の建設については、従来からの説明どおりに布勢小仮設校舎を設置することも選択肢として残しつつも、三成小学校耐震代替校舎のみで対応できないか、布勢小学校区と早急に検討・協議を進める。その上で、布勢小耐震代替校舎の設置について判断する。

【補正予算内容】

- ・三成小耐震代替校舎設計業務委託費、三成小プール解体設計業務委託費など

今後、関係者等へ詳細な説明をしながら、令和8年4月開校に向け進めていきます。引き続きのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

学校再編推進課

三成小学校

三成大火を逃れたピアノで演奏会

三成小学校に保管されている、戦時中に発生した三成大火での焼損を免れたピアノによる演奏会が、11月27日と29日の2回、三成小学校の体育館で開催されました。

三成大火は、昭和20年4月18日の正午すぎに発生し、三成の中心地はほぼ全焼、布勢の山林にも飛び火するなど、広範囲に燃え広がり、翌朝の雨で鎮火したとされます。

ピアノは校舎に火の手が迫る中、三成小学校の職員によって搬出されました。記録によると「搬出して焼け残った備品は、ただ一台のピアノ」とあります。

今回の演奏会では、雲南市在住のピアニスト板東沙耶香さんをお迎えしました。曲目は、モーツァルト作曲「きらきら星変奏曲」、ドビュッシー作曲「喜びの島」に加え、児童に弾いてもらいたい曲を尋ねた事前アンケートの上位楽曲が織り交ぜられました。

29日は、板東さんによるクラシック曲の聴き方のこつこの教示もあり、児童の感性を磨く時間となりました。



電力・ガス食料品等価格高騰 緊急支援給付金のご案内



物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対して給付金を支給します。(詳細は、町のホームページ等でお知らせしています。)

※この給付金は、すでに「住民税非課税世帯等臨時特別給付金(10万円)」を受給された方へも支給されます。

1.支給対象となる世帯 (いずれかにあてはまる世帯)

- ①世帯全員の令和4年度住民税均等割が非課税の世帯
※住民税が課税されている方の扶養親族のみの世帯ではないこと
- ②予期せず令和4年1月から令和4年12月までの家計が急変し、同一の世帯に属する者全員が令和4年度分の住民税が非課税である世帯と同様の事情にあると認められる世帯(家計急変世帯)

2.支給額 1世帯あたり5万円



3.支給方法

- ①住民税非課税世帯
令和4年度住民税非課税世帯等臨時特別給付金を受給された方は、給付金の支給口座に振り込みます。また、受給対象となる世帯へは、お知らせの文書を送付しています。
なお、お知らせが届いていない方でも、申請により受給できる場合があります。
- ②家計急変世帯
申請時点で住民登録のある市区町村へ「申請書」の提出が必要となります。確定申告書、源泉徴収票等の他、収入が分かる書類を添付していただきます。

4.申請期限 令和5年1月31日(火)まで

【お問い合わせ・提出先】 奥出雲町福祉事務所 有線31-5375 電話54-2541

第27回 中国中学生選抜剣道大会



第27回中国中学生選抜剣道大会が12月3日から4日にかけて、奥出雲町民体育館で開催され、中国地方各県から男女計33チーム、延べ211名が参加しました。試合は、3校総当たりによる予選リーグの上位2校が決勝トーナメントに進出するルールで行われました。

奥出雲町からは、仁多中男女と横田中男子が出場し、3チーム全てが決勝トーナメントに進出しました。仁多中男子は惜しくも準決勝で敗れましたが、見事第3位に入賞しました。また、仁多中女子と横田中男子も健闘し、ベスト8に入りました。優勝は、男子が広島県大塚中、女子が岡山県玉島東中でした。

第54回 全国高等学校選抜ホッケー大会 JOCジュニアオリンピックカップ 第36回 全国都道府県対抗 中学バレーボール大会 激励式

第54回全国高等学校選抜ホッケー大会、および第36回全国都道府県対抗中学バレーボール大会の出場選手に対する激励式が12月7日、役場仁多庁舎で開催されました。ホッケー大会は12月22日から27日にかけて岐阜県各務原市で開催され、奥出雲からは横田高校男子ホッケー部、および女子ホッケー部が参加します。男子ホッケー部は、インターハイと国体で優勝しており、3冠をかけた大会です。

また、全国都道府県対抗中学バレーボール大会は12月25日から28日にかけて大阪市で開催されます。奥出雲からは島根県選手団の一員として川角梨緒さんと、西村希星さんの2名が参加します。

